

# SDGs未来都市等進捗評価シート

2021年度選定

京都府京丹後市

2023年9月

SDGs未来都市計画名

京丹後市SDGs未来都市計画

～豊かな自然環境と多彩な産業、先端技術が調和した誰ひとり置き去りにされない誰もが幸福実感にあふれるまちの実現～

特に注力する先導的取組

—

## 1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

## (1) 計画タイトル

京丹後市SDGs未来都市計画

## (2) 2030年のあるべき姿

豊かな自然環境と多彩な産業、先端技術が調和した、誰ひとり置き去りにされない、誰もが幸福実感にあふれるまち

【かせぐ】「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼びこむ好循環の確立

【はぐくむ】先進的な教育が受けられる環境の整備、世界から起業家、スタートアップ企業等が集まり、地場産業とともに成長・発展するまちの実現

【ささえる】誰もが「幸せ」を感じながら、いきいきと活躍できる誰ひとり置き去りにされない社会の構築

【つなぐ】多様な主体が地球環境に配慮した活動を実践する持続可能でレジリエントなまちの構築

## (3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール

経済	社会	環境
 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	 <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p>	 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>
		 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>
		 <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>

## (4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※【】内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度 （%）
1	製造品出荷額【8.2, 8.3, 8.5】	2017年 767.2 億円	2021年 736.2 億円	2030年 880 億円	-27.5%
2	市民の健康寿命・男性【3.8】	2018年 79.1 歳	2021年 80.4 歳	2030年 80.1 歳	130.0%
3	市民の健康寿命・女性【3.8】	2018年 84.3 歳	2021年 84.6 歳	2030年 85.3 歳	30.0%
4	公共交通空白地の解消【11.2】	2020年度 3,200 人	2022年 2,665 人	2030年度 100 人	17.3%
5	廃棄物の最終処分量の削減【12.5】	2019年度 5,669 トン	2022年度 4,766 トン	2030年度 4,822 トン	106.6%
6	地域の温室効果ガスの削減量【13.1】	2015年度 39.5 万トン	2020年度 26.9 万トン	2030年度 23.8 万トン	80.3%

## (5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

## 【No1】製造品出荷額

コロナ禍における資材、電力・エネルギーコストの高騰により特に影響を受け、厳しい状況にある機械金属事業者等に対し、給付金や金融面での支援を行い、経営の安定化を図るとともに、「かせぐ力」を強化するべく、新商品開発や販路拡大事業等の支援を行った。

## 【No4】公共交通空白地の解消

新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等により、利用者が大きく減少したが、何とか幹線系統補助路線の運行確保・維持するとともに地域住民の移動手段を守り、空白地人口の増加を阻止。また、市内一部エリアにおいて、mobi（AIオンデマンド運行）の実証により、一部公共交通空白地エリアが解消された。運行路線の見直しや新たな輸送サービス（MaaS）にも注目し、地域に応じた持続可能な地域交通の確保を行う中で空白地の解消及び利用促進を図っていく。

## 【行政体内部の執行体制】

SDGsの推進に向けた基本理念や市の責務等を掲げる「京丹後市SDGsとともに創生・発展するまちづくり推進条例」を制定。同条例に基づき、各部署において積極的な取組を推進している。

## 【情報発信、普及展開性】

「SDGsの達成に向けた飛躍の機会」として位置づけられている2025年大阪・関西万博を契機として、本市におけるSDGsの達成に向けた取組の更なる加速化を図るべく、万博関連の各種媒体を活用し、取組のPRを行った。

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

## (1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 (%)
1	「織物業」「機械金属業」の成長促進と新産業の創出	製造品出荷額	2017 767.2 億円	2019 725.8 億円	2021 736.2 億円		2023 857.2 億円	-34.4%
2	民民連携・地域間連携の推進	市内外の企業・団体・大学等との連携協定締結数（累計）	2020年度 5 件	2021年度 12 件	2022年度 19 件		2023年度 23 件	77.8%
3	「ふるさと納税10倍プロジェクト」の推進	ふるさと納税額	2020年度 5.88 億円	2021年度 9.4 億円	2022年度 15.3 億円		2023年度 30 億円	39.2%
4	シェアリングエコノミーの推進	公共交通空白地の解消	2020年度 3,200 人	2021年度 2,760 人	2022年度 2,665 人		2023年度 500 人	19.8%
5	持続可能な地域づくりと未来人材の育成	移住世帯数（累計）	2020年度 27 世帯	2021年度 78 世帯	2022年度 130 世帯		2023年度 90 世帯	144.4%
6	地域包括医療・ケア体制の充実と百才活力社会づくりの推進	介護予防体操取組地区数	2020年度 21 地区	2021年度 21 地区	2022年度 24 地区		2023年度 52 地区	9.7%
7	地域包括医療・ケア体制の充実と百才活力社会づくりの推進	京丹後市シルバー人材センター会員数	2020年度 716 人	2021年度 692 人	2022年度 682 人		2023年度 894 人	-19.1%
8	再生可能エネルギーの導入及び活用促進、エネルギーの地産地消、レジリエンス強化	再生可能エネルギーの市内消費電力占有率	2020年度 7.5 %	2021年度 7.55 %	2022年度 8.19 %		2023年度 15 %	9.2%
9	再生可能エネルギーの導入及び活用促進、エネルギーの地産地消、レジリエンス強化	公共施設での再生可能エネルギー活用	2020年度 19 施設	2021年度 19 施設	2022年度 19 施設		2023年度 25 施設	0.0%

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 (%)
10	再生可能エネルギーの導入及び活用促進、エネルギーの地産地消、レジリエンス強化	自主防災組織を構成する行政区数	2020年度 173 行政区	2021年度 173 行政区	2022年度 172 行政区		2023年度 215 行政区	-2.4%
11	再生可能エネルギーの導入及び活用促進、エネルギーの地産地消、レジリエンス強化	災害時応援協定締結団体（他自治体含む）	2020年度 90 団体	2021年度 92 団体	2022年度 95 団体		2023年度 99 団体	55.6%
12	環境保全意識の醸成、人材育成、連携及び協働による脱炭素社会の構築	環境保全リーダーの認定数	2020年度 22 人	2021年度 33 人	2022年度 35 人		2023年度 30 人	162.5%
13	環境保全意識の醸成、人材育成、連携及び協働による脱炭素社会の構築	環境配慮型実践優良事業所の認定（登録）数	2020年度 4 事業所	2021年度 14 事業所	2022年度 19 事業所		2023年度 9 事業所	300.0%
14	環境保全意識の醸成、人材育成、連携及び協働による脱炭素社会の構築	環境保全の学習、セミナー、講演会等の実施件数	2020年度 20 件	2021年度 36 件	2022年度 53 件		2023年度 50 件	110.0%
15	環境保全意識の醸成、人材育成、連携及び協働による脱炭素社会の構築	環境保全の学習、セミナー、講演会等の延べ参加者数	2020年度 774 人	2021年度 1,198 人	2022年度 1,677 人		2023年度 2,000 人	73.7%
16	ごみの削減と再資源化による持続可能な循環共生社会の推進	一般廃棄物総排出量 ※し尿・浄化槽汚泥除く	2020年度 21,565 トン	2021年度 21,754 トン	2022年度 21,043 トン		2023年度 22,852 トン	108.6%
17	ごみの削減と再資源化による持続可能な循環共生社会の推進	一般廃棄物焼却量 ※し尿・浄化槽汚泥除く	2020年度 16,063 トン	2021年度 14,497 トン	2022年度 14,893 トン		2023年度 13,500 トン	45.6%
18	ごみの削減と再資源化による持続可能な循環共生社会の推進	ごみの再資源化率 ※集団回収含む	2020年度 19.3 %	2021年度 15.2 %	2022年度 19.2 %		2023年度 27.6 %	-1.2%

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

## (2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

令和4年度は、行政、市民、事業者等がSDGsの考え方をそれぞれの活動等に取り入れ、協力・協働しながら一丸となってまちづくりを推進していくための共通の指針として、「京丹後市SDGsとともに創生・発展するまちづくり推進条例」を制定。また、SDGs活動に取り組む個人、企業、団体の交流、連携促進を図るための「京丹後市SDGs推進市民会議」の設立、市内のSDGs関連情報を集約するプラットフォーム「京丹後市SDGs特設サイト」の開設、SDGs活動のスタートアップ支援を行う「京丹後市SDGsチャレンジ支援事業補助金」の創設等、SDGs活動の加速化、自律的好循環の形成に向けた取組を推進した。広域でのSDGs登録・認証制度の構築に向けては、地域金融機関とも連携し、京都市北部5市2町でつくる京都市北部地域連携都市圏形成推進協議会において検討中である。

## (3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

## 【No1】製造品出荷額

特に織物業において、施設、設備の老朽化、事業者の高齢化、後継者不足が顕在化している。市内織物業者の経営実態などを分析し、今後の施策を計画的に行う予定。（毎年の経済構造実態調査 製造業事業所調査により直近の実績数値を把握）

## 【No3】ふるさと納税10倍プロジェクトの推進

ポータルサイトを拡充（5サイト増）し、返礼品の拡充や魅力を伝えるページづくり、寄附を行うまでのプロセスを意識したSEO対策や広告運用を行ったことにより、寄附額、寄附件数を伸ばすことができた。更なる寄附金額の増加を図るため、柱となる返礼品の拡充、関係者との連携体制の構築、効果的なプロモーションの実施などに一層取り組む。

## 【No5】移住世帯数

令和4年度は、補助金制度を拡充し前年度と比較して多くの補助金交付を行い、移住世帯数を過去最大にすることができた。移住を検討する人が増加する中、移住希望者のニーズに合う空家物件が少ないことが課題となっていることから、空家所有者へのアプローチや相談体制の強化等により、空家の掘り起こしを進めていく予定。

## 【No7】シルバー人材センター会員数

高齢化が進み、健康上の理由（病気）や家族の介護、自分に合った仕事がないなどで退会者が増加している。このため、会員増強と技能向上の取組を支援していくとともに、働きたいという意欲が強い高齢者のニーズに合った仕事を用意できるよう仕事の確保に努める予定。

## 【No9】公共施設での再生可能エネルギー活用

2022・2023年度に実施する再生可能エネルギーのゾーニング結果等を踏まえ取組を進めていく中で、国の交付金を活用し、公共施設への再生可能エネルギー発電設備を設置していく予定。

## 【No10】自主防災組織を構成する行政区数

設立未済地区に対する状況を調査し、設立意識を喚起する取り組みを推進していく他、少数世帯の地区は複数の区で共同した組織化を勧める予定。

## 【No16】一般廃棄物総排出量

ごみの分別冊子等の作成・配付、出前講座、ごみ減量に係る広報等々を実施したことで、一般廃棄物総排出量の削減につなげることができた。今後は、雑がみ分別の推進と併せて、食品ロスの削減に関する法律が施行されたことを踏まえ、食品ロスの削減に向けた取組を実施していく予定。

## 【No18】ごみの再資源化率

目標値の達成は至らなかったが、海岸漂着物及び小型家電の外部処理、雑がみ分別の促進により再資源化率の向上につながった。引き続き、出前講座等による広報活動等を行っていく予定。

## 【特に注力する先導的取組】

■AIオンデマンドモビリティ（mobi）の利用者数、利用回数が増加傾向にある中で、令和4年度は実証期間の延長、実証車両の1台増車、一部エリア拡大を行った。本実証のアンケートにより9割以上がmobiが必要と回答し、地域に必要なサービスとしての意見が多い中、既存の交通事業者の理解が得られれば、現エリアにおける本格導入や他エリアへの展開も検討することとしている。

## (4) 有識者からの取組に対する評価

- ・移住世帯数は着実に増えていると評価できる。
- ・AIオンデマンドモビリティ事業が着実に進んでいるとのことだが、指標にもその内容を取り入れて具体的に成果が見えるようにすることの検討が望まれる。